

---

# 混沌の後継者 Fate/Zero Eclipse

天儀凌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

混沌の後継者      F a t e / Z e r o    E c l i p s e

### 【Nコード】

N 8 3 1 4 Z

### 【作者名】

天儀凌

### 【あらすじ】

俺は混沌の後継者なんだとさ、まあ気楽に……いきなり転生っておい！？  
まあ良いか混沌の後継者始めるぞ

タイトル少々変更しました！

## アンケートの説明

はじめまして、家電球形です！

第0話を見て頂ければいいのですが、

アンケートを行います！

この小説では主人公はサーヴァントで召喚されることは確定しています

つまり、聞きたい事は、

主人公のマスターは誰が良いか？

- 1 ・衛宮切嗣
- 2 ・言峰綺礼
- 3 ・間桐雁夜
- 4 ・その他（名前をお書きください）

で募集します！

一番多かったのを採用させていただきます！

二番目は出来ればinfurルートをやってみたいとおもいます！

個人的には言峰さんとやらせてみたいですw

期限は28、29日を予定しています！

よろしく願いします！

## アンケートの説明（後書き）

主人公「あのさあ、俺の設定は？」

家電「今日か明日くらいに投稿かな？」

主人公「名前出るよな？」

家電「知らない！」

家電は逃走した！

主人公「つておい待て！」

主人公は追いかけた！

家電「これからもお願いします！」

主人公「逃げんなーーーー！！！」

## 第0話混沌の始まり（前書き）

はじめまして、家電球形です！

こんな短い駄文ですがよろしく願いします！

では、混沌の後継者が始まります！

## 第0話混沌の始まり

### 第0話 混沌の始まり

「あれ、どこなんだここ？」

ふと、目が覚めるとそこは真っ白？いや、真っ黒？まあ、混沌的な空間があった。

「ん、ちょっと待て、ここはどこ？ていうか俺はど、ソの問イにはワたしが答えヨウ」

「ってダレだあんた？ってク調ガ！？」

「どういう事だ？相手もそうだが俺の口調が崩れてる！？それになんだこの感覚？」

「ようやく、混沌たる私の後釜が見つかったのはいいが、

動揺している所をみても口調からみても心をみてもやはりまだ完全ではないか」

「ん、ドゥーイングコとだ？あと、質問二コタエロ」

何か誰かさんの口調がきれいになってるし・・・

俺はさらに崩れてるぞ？後心を見る？

ん、姿がようやくはつきり見えるぞ？だけど何だあの黒と白の刻まれた文様？

「む・そういう事か？私の名はカオス、文字通り混沌の神だよ、

そして君は私の後継者に選ばれたという事だ、

そして君は混沌を制御している最中、もう少ししたら慣れるだろう」

は、俺がようは混沌さんの後継者だと？何で俺が？くそ、思考が全然定まらない・・・

「まあ、その状態では仕方ないかな？君は自分の名前すらはつきりしてはいまい、



だからまずは状況説明という」

くっ、納得できないが事実だし頼むとしますかね・・・

「ふっ、それほどまでに嫌なのか？ここが死後の世界だからか？私  
が混沌だからか？」

自分の状況がその状態だからか？まあ良い、では説明するでしょう」

「まず、この世界だが神界と呼ばれている。まあ上から下まで階層  
は様々だがね、

そして私は上位十二神の一人だよ」

驚きだな、こりゃ・・・

「・・・・・・・・・・」

「そろそろ隠居したくてね、私の資質を受け持つにふさわしい

人物を探していたんだがそこに君が現れてくれたから助かったよ、

おかげで数百年以上待った甲斐があるものだ」

事情と場所はわかったな、聞きたい事は一つ、それは・・・

「成程な、で、俺はどう死んだんだ？」

「ふむ、慣れてきたようだな、その事に関しては他の神が運悪く交通事故で

殺してしまったと聞いているが？」

こいつ・・・笑いながら話してやがるよ、自分が誰かに命令したな  
おい・・・

「はあ、成程なあ・・・で、俺にどうしろと？」

「それなのだがね、まずは他の世界へ転生してもらおうかと思っ  
ているのだよ」

転生ねえ、そんなの前世では全く気にしていなかったがなあ・

どうしたもんかな？

するとカオスは笑って、

「安心したまえ、これは強制だからな」

って、どす黒い穴の中に引きずりこまれてる！？どついつ事だ！？

「君はある世界へ行ってもらう、なあに何でもありのような世界だから問題は無いぞ？」

「ちよ、何も無しで行くのか！？」

流石にそれは困るぞ！？

「なあに、知識と経験と切り札はインプットしておくから問題は無い、

それと切り札は自分で決めろ、では行ってくるといい」

「な!?! ちょっと待って」

俺は穴に全て引きずりこまれた・・・

「さて、私の後継者　　よ、はたしてどのような混沌へ進むの  
かな？」

## 第0話混沌の始まり（後書き）

すいませんがアンケートを取ります！

誰がマスターがいいか？

1・衛宮切嗣

2・言峰綺礼

3・間桐雁夜

4・その他（名前は書いてください）

の中をお願いします！

主人公は原作を知りませんのであしからず

まあアイリスフィールとかでもOKですよ！

ご意見ご感想どしどしどうぞー！

アンケートは28、29日くらいまで取りますよ！

## 主人公設定（前書き）

どうも家電球形です！

毎度おなじみの主人公設定です！

では、どうぞ！

少々ネタバレがあるかも？です

## 主人公設定

主人公設定

名前 ケイオスⅡⅡカイザー（Ⅱはツヴァイ）

マスター?????

クラス?????

属性 混沌・中庸

筋力???

耐久???

敏捷???

魔力???

幸運???

宝具???

クラス別スキル

???

保有スキル

混沌自立（単独行動：A+）

混沌がなくなる事はなく、始祖神である事から。

マスターからの魔力供給が無くてもある程度自立できる。

これ程のランクになると2週間は限界可能。

神性：A+（F）、魔性：A+（F）

このランクになると神と同義であるが、

光と影すら伴う混沌なので影になる事で

神霊適性をほぼ全てなくす事が可能である。

その代り反対の魔族適性を得る。

???

まずこの設定で行かせてもらいます

え、チート？これはまだそうではないでしょうか？

それではアンケート終了後更新します！



## 主人公設定（後書き）

ケイオス「結局出したなおい」

家電「まあね」

ケ「容姿とかは？」

家「ころころ変わるからねえ・・・」

ケ「ちょっと話をしようか・・・」（ゴゴゴ）

家「待つて！影出ちやてるからああああ！！」（逃走）

ケ「待てえええ！！！！」（影を出しながら逃走）

これからもお願いします！！

## アンケート途中経過

どうも、家電球形です！

ただいまの集計経過は、

1・0人

2・0人

3・2人

4・間桐桜（幼少期）2人

イリヤスフィール・フォン・アインツベルン（幼少期）1人

遠坂凜（幼少期）1人

です！

というより、雁夜ブームなんだろうなと最初思っていたんですが、

待って、4多いぞ!?! 一体どういう事なんd)ry

それに間桐家強し!?!?

さらに皆さん幼少期(重複有り)派と雁夜派に分かれた!?!?

他派閥がないなあ・・・

じゃあ、4・幼少期組、5・その他とさせていただきます!

27日で切っても変わらないかなあ・・・

でも集計終了は28日予定にさせていただきます!

どっどっどんぞー!

## アンケート途中経過（後書き）

ケイオス「おい、もうアクセス2000越え、ユニーク600越えとはな・・・」

家電「皆さんありがとうございました！できればアンケートをどうぞ！」

ケ「俺からも感謝する」

家「では、27日か28日でー！！」

ケ「おい、まだ終わってないぞ・・・って行ったのかよ

とりあえず『混沌の後継者』をよろしく頼む」

家「何だ、こつこつのも出来るじゃん、フッフ」

ifルート関連っばい奴？（前書き）

どうも！家電球形です！このままだと出なさそうなものを投稿します！

気に入ったものは感想等どうぞ！

ifルート関連っばい奴？

「君はアーサー・ペンドラゴンだな？」

僕は誓っていた・・・正義の味方・・・天秤の守り手になると・・・

「いいや、俺は混沌、ケイオス、ケイオスⅡⅢカイザーだ」

しかしこの黒髪で、金色の目で、白い肌に黒い文様を巻き付けた男が、

「召喚に応じ参上した、問に答える、お前が混沌たる俺のマスターなのか？」

僕の存在価値が、僕の理想が、簡単に・・・

「理想はあくまで理想だ、出来るものと出来ないものがあるに決まっているだろう？」

「いいや、それでも僕は少数を切り捨ててきたんだ！」

「いい加減気づけ、その果てにあるのが混沌でも何でもない孤独のみだということを、」

それは悪ではない、ただの愚鈍なんだよ、衛宮切嗣」

壊れて崩されていった・・・

「救え、今でも遅くないだろう？その為に召喚されたのだぞ？」

「ああ、やってやるとも、言峰綺礼最後の勝負だ！！」

そして僕はこの戦いに・・・

「良いのか君は？この報酬は君に有るべきだろ？」

「良いのさ、何年後になるかは知らんが・・・」

幸せへの戦いに赴けよ・・・

「っ！？」

あいつは、今どこで何をしているのかな？

iフルート衛宮切嗣解体編



ifルート関連っばい奴？（後書き）

はい、今回は衛宮切嗣編をやってみました！  
ご感想、ご意見あればどうぞ！  
アンケートもお願いします！！

ケイオス「そういえばPVが5000越え、ユニークが1200な  
んだと

な？」

家電「それが困るんだよね・・・記念とか記念とかきん」

ケ「壊れたな・・・まあ良いか、『混沌の後継者』よろしく頼むぞ！

俺の混沌の為に！！」

家電「つて、お前は嬉しそうだな嬉しs」

アンケート集計経過

間桐桜（幼少期） 4人

間桐雁夜 2人

イリヤスフィール・フォン・アインツベルン（幼少期） 1人

遠坂凜（幼少期） 1人

蒼崎橙子w 1人

です！桜人気です！このままだと桜ルート（多分間桐家救出か聖杯戦争崩壊ルート）ですifルートは間桐雁夜とあと一人で予定しています！

かなりきついです！

（＼）。（ロ＼）ココハドコ？ （ノロ。）ノアタシハダアレ？状態）

まだまだ時間はありますのでどしどしどしづづ！

ifルート関連っばい奴？（前書き）

どうも、家電球形改め天儀凌です！

ifルート言峰綺礼編行ってみます！

ifルート関連っばい奴？

私はいつからこの問いをしているのだろうか？

サーヴァント、アサシンを召喚している時もこんな事を考えている。  
・  
・

この聖杯戦争で、衛宮切嗣との戦いでこの答えを見つけ出す、絶対に  
に……

見つかる「おい、お前が混沌たる俺のマスターか？」

何！？確かに私は百の貌のハサンを呼び出したのではないのか！？

「知らん、だがなあ、お前の眼、俺にはわからん事も無いぞ？」

「！？？どういう事だ？」

「お前には情熱が無い？神の加護が無い？違うんだよ、言峰綺礼、俺のマスターよ」

「では、私は何を求めているのだ!？」

「っ!?! 待て、落ち着け、こういう時は や を思い出して・・・  
!?!」

「な、なんだ!?!」

「どうやら、自分の本質から背を向けているだけか、臆病だな」

「貴様に何がわかる、アサシン!?!」

「わかるとも、だがこれは1つの試練だ」

「何?」

「お前は既に見えているのだよ、答えを、聖杯への道を」

「では、聖杯が私を導くと?」

「そつだ、お前ではない、聖杯がだ」

「だがそれは・・・遠坂師と戦う事になる」

「いいではないかね？裏切りもまた必至という事だよ」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

私は聖杯戦争にどう挑めば良いのか、

衛宮切嗣とどう戦えば良いのか

私の望みとは何なのか

この男は握っているのか・・・

「いいだろう、その道が私の答えになるのだな？」

「ああ、そうだ、来い言峰綺礼これがお前の道だ」

ifルート言峰綺礼編第四次聖杯戦争前

ifルート関連っばい奴？（後書き）

ケイオス「今回は戦争っばい描写すらないな」

天儀凌「良いじゃんか、別に！！」

ケ「ふーん、まあ『混沌の後継者 Fate/Zero Eclipses』をよろしく頼む」

天儀凌「それではさようなら！」

### アンケート集計経過

現在1位 間桐桜 四人

2位 間桐雁夜 三人

3位 幼少期2人（要はイリヤと凜）

蒼崎それぞれw

葛木宗一郎（早い！？） 一人

です！まだまだアンケート募集しますよ！



またアンケート集計経過です、後・・・

天儀凌「どうも！」

ケイオス「投稿時間的にはこんばんわだな、で、今回は何故本文なんだ？」

天「皆さんに感謝の意とアンケートの経過をだな・・・」

ケ「俺はこれは結局シリアスではなくギャグ小説の説明かと」

天「待って！それは無いぞ！一応シリアスで後書きがボケなんだよこれは！」

ケ「ならシリアス要素はどこにある？」

天「今から出すんだよ今から・・・」

ケ「大丈夫か？本当に・・・」

天「大丈夫だ！多分・・・って、言いたい事はそれじゃなくて！」

ケ「で？」

天「お前何なの？いや、始めにアンケートの集計結果だ！

活動報告の方にも有りますよ」

ケ「ふむふむ、で現在は・・・

間桐桜 4票

間桐雁夜 4票

イリヤ 1票

遠坂凜 1票

蒼崎青子 1票

蒼崎橙子 1票

葛木（ステイナイト派？） 1票

という事だな」

天「そういう事、で今回は他の作品もやって欲しいか

1本で出来るだけ頑張って欲しいかの

意 見 調 査だーーーーー!!!!」

ケ「無駄にテンションが高いな・・・」

天「そりゃ、アクセス連日4000越え、ユニーク連日1000越えなら嬉しかろうよ!」

ケ「要は俺もしくは別主人公の他作品を作ってほしいか、作るなかの二択だろ?」

天「素っ気無いな・・・そういう事だ、

という事でアンケートづくしですいませんがアンケートをまた  
取ります、

他作品をやる・・・更新が遅く、(1、2日は余裕で)文章が  
短い

他作品をやらない・・・意見が通りにくい

デメリツト込みでお願いします!」

ケ「という事で『混沌の後継者 Fate/Zero Eclip  
se』をよろしく頼む」

天「また次回、ご意見ご感想、アンケートお待ちしております!

マスターアンケートは28日終了予定です!(終了時刻は未定)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8314z/>

---

混沌の後継者 Fate/Zero Eclipse

2011年12月27日23時54分発行